広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2022
May
No.1123
5月

表紙 令和４年度仙美里小学校入学式の記念撮影

Pick up

- 春 交通安全を願って
- 各校入学式
- 地域おこし協力隊が行く 特別号 4人のイベントを開催!

写真提供：フォトファクトリー西村

春

交通安全を願って

気温が上昇するにつれ、気持ちも緩みがちになり、ついスピードを上げてしまうこの季節。悲惨な交通事故に遭わないため、「春の交通安全運動（4月6日から15日）」の出動式が4月6日、本別警察署で行われました。この出動式を皮切りに、さまざまな交通安全の取り組みが行われました。

4/6 出動式の出動宣言

計12台がパトロールに出発

元気くんと道警シンボルマスコット
「ほくとくん」も啓発運動に参加

同出動式には、町内の交通安全関係団体など約50人が参加する中、本別警察署寺江章署長は、「この先も長く交通事故のない安全な社会が続くよう交通事故につながる違反の取り締まりを強化します」とあいさつ。出動宣言のあと、十勝機動警察隊の白バイを先頭にパトロールカー6台と町青色回転灯パトロール隊の車両など計12台が一斉に市街地のパトロールに出発しました。

悲惨な交通事故をなくそう

毎年後を絶たない交通事故。交通事故は、ちょっとした油断から引き起こり、取り返しのつかない事態となり加害者、被害者だけでなく、その周りの人たちにとっても、心に多くの傷痕をのこします。

本別町は、町民の皆さんの交通事故に対する意識の高さや、各種団体による交通安全の取り組みなどにより、現在、町内での交通事故死ゼロの日が４００日を超え更新中です。今後も、運転者と歩行者の両方が気を引き締め、この記録を継続させ、悲惨な交通事故がない安心安全な社会を築いていきましょう。

交通安全を呼び掛ける

春の交通安全運動の出動式終了後には、参加者全員で北２丁目の国道２４２号線沿いで、交通安全と書かれた旗を道行くトライバーへ掲げる「旗の波運動」を実施。認定こども園ほんべつ（石田恵園長）の年長児35人が４月７日、南３丁目の国道２４２号線沿いで交通安全を呼び掛ける「旗の波運動」を行いました。また、本別ライオンズクラブ（朝日基光会長）の会員ら19人が４月14日、北８丁目のふれあい公園で交通安全キャンペーンを実施し、啓発チラシと記念品１００セットをドライバーに手渡しながら、交通安全を訴えました。

4/6 出動式の啓発活動

4/14 ライオンズクラブ交通安全キャンペーン

認定こども園の啓発活動 4/7

中央小学校交通安全教室

本別中央小学校（森本聡校長・169人）では、全校児童を対象とした交通安全教室が１年生は４月12日、４～６年生は４月15日、２・３年生は４月18日、同校周辺で行われました。児童たちは、交通指導員や先生の指導のもと横断歩道の渡り方や自転車の乗り方など、事故に遭わないための交通ルールを学びました。

4/15 ４～６年生

１年生 4/12

本別警察署
寺江　章 署長

町民の皆さんへ

本別町では、今年の３月末で交通事故死ゼロの日400日を突破し更新中ですが、さらに500日、1,000日と続いていくようパトロールを強化していきます。町民の皆さんも日ごろから交通安全を心掛けましょう。

北電グループとの災害による停電発生時の復旧に係る相互協力協定締結式

町と北海道電力および北海道電力ネットワークによる大規模災害時における相互協力に関する基本協定締結式が3月29日、役場で行われました。

災害による停電の早期復旧体制を強化

協定は、大規模災害で停電が発生した場合に、町と両社が連携し停電復旧の迅速化を図るための協力体制について定めており、令和元年9月の台風被害で電力設備や道路に掛かる倒木などの影響により、関東地方で長期の停電を余儀なくされたことをきっかけに、両社が全道の各自治体と協定を締結しています。

協定の内容は、倒木などの撤去作業を町に要請するなど停電復旧作業の支援のほか、施設、敷地、資機材等の資源提供、停電情報や被害状況を速やかに提供し、情報共有を図ることなど相互の役割分担を明確にしています。

締結式では、北海道電力ネットワーク帯広支店の高橋章支店長らが役場を訪れ、佐々木基裕町長と協定書を取り交わしました。佐々木町長は「町民の皆さんの生活の安定が図られるよう、どのような出動や支援ができるのか協議しながら整備体制を整えていきたい」と話し、高橋支店長は「多くの関係機関の協力体制を築き迅速な復旧体制を構築していきたい」と感謝の言葉を述べました。

締結式終了後には、役場駐車場で電気自動車から電化製品などに電力を供給する実演も行われました。

電気自動車からの電力供給の実演

協定書の取り交わし

令和４年度 町内小・中学校 本別高等学校入学式、農業大学校入校式

仙美里小学校新１年生入場

令和４年度の農業大学校の入校式が４月７日、町内小・中学校および本別高等学校の入学式が４月８日、各学校で開かれました。

期待と希望を胸に 新生活のスタート

今年の町内の入学者数は、小学校34人、中学校32人、本別高等学校21人、農業大学校65人。仙美里小学校（松下政博校長）の入学式では、保護者や上級生が見守る中、５人の新１年生が担任の籾山（もみやま）智美教諭の後に続いて体育館に入場し、一人ずつ名前を呼ばれ紹介されると、会場の先生や上級生へ恥ずかしそうにあいさつしました。松下校長は、「入学おめでとう。学校は楽しい行事でいっぱいです。どんなこともやってみようと挑戦してください」と式辞を述べ、児童会長の本寺慎斗さんが「わからないことはお兄さんお姉さんに聞いて、みんなで頑張りましょう」と歓迎の言葉を述べました。

勇足中学校（斉藤芳秀校長）の入学式では、８人の新１年生が入学。入学式の歓迎の集いでは、最初に中学校でどんな生活がまっているかをスライドで説明し、林優奈生徒会長が、「互いに高め合う友人をつくり自分の可能性を広げ、有意義な３年間を過ごしてください」と歓迎の言葉を送った後、部活動紹介なども行われ、新入生たちは、それぞれの期待と希望を胸に新たな学校生活の一歩を踏み出しました。

勇足中学校での生活をスライドで説明

勇足中学校入学認定

地域おこし協力隊が行く

特別号

本別町地域おこし協力隊 4人によるイベントを開催！

皆さんこんにちは！地域おこし協力隊です。

この度、隊員４人でイベントを企画しました！その名も『作って、遊んで、食べよう！　ほんべつ丸ごと体験会』。

ライフキネティック、山歩き解説ツアー、空薬莢（からやっきょう）を使ったワークショップ、本別産食材を使用した食事やスイーツなど、五感を刺激する企画が目白押し！素敵な景品つきのスタンプラリーも同時開催します。

楽しいひとときをお届けしますので、ぜひ遊びにいらしてくださいね♪

作って、遊んで、食べよう！

ほんべつ丸ごと体験会

とき 5月17日（火）午前９時～午後４時

ところ 本別公園、義経の館

イベントスケジュール

午前９時～	受付スタート、スタンプラリーのカード配布
午前９時30分～午前10時30分	ライフキネティック
午前10時30分～午前11時30分	山歩き解説ツアー
午前11時～午後２時	ランチ
午前11時～午後４時	カフェ
午後１時30分～午後３時30分	ライフキネティック、ワークショップ

※終日参加、途中参加いずれも可能

★ドリンク付きランチプレートは、豚汁、おにぎり（鮭、おかかチーズ）、がんもどき、春野菜と豆のバター炒め

・限定40食　￥800（税込）

★ドリンク付きスイーツセットは、もいわチョコモン、ソイクレープ（本高生考案）

・限定20食ずつ　￥600（税込）

★世界三大健康野菜（ヤーコン、アピオス、キクイモ）を使用した焼き菓子や、鹿ツノのペン立て、空薬莢のマグネットなどの物販もあり

★各企画に参加して３ポイント集めると素敵な景品を差し上げます！

それぞれ２年目、３年目になる隊員活動も４人で連携し、切磋琢磨して活動していきたいと思います。
新年度もどうぞ宜しくお願い致します。

地域おこし協力隊公式アカウントもチェック！
FacebookとInstagramで情報を定期更新中！

＜Facebook＞　＜Instagram＞

※雨天時は公民館での開催となります
※ご来場の際は、マスクの着用をお願い致します
※感染症などの拡大状況により、イベントを延期する場合がございます

問い合わせ　企画振興課　☎22－8121

教育委員会の手作りページ

HELLO
少人数教育と教科担任制

学校教育は、「わかる授業」を行い、「確かな学力」を育むことが求められています。文部科学省では、少人数指導や少人数学級など１学級の人数を弾力的に取り扱い、個に応じたきめ細かな指導を実現できるように推進しています。

今後は、ＩＣＴ教育での１人１台端末の活用と併せ、誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す教育へ転換し、個別に最適な学びと協働的な学びを目指すため、教育環境整備に努めます。

「学級編成基準と35人学級」

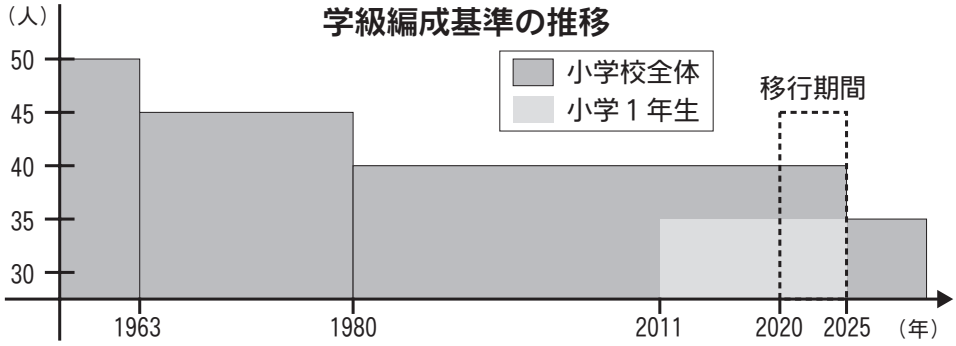
文部科学省は、令和２年（2020年度）12月に、これまでの40人学級から35人学級へ段階的に調整し、令和７年度（2025年度）から小学校全学年が35人を学級編成基準とすることが決まりました。（右表参照）学級編成基準の標準が計画的で一律に下がるのは、昭和55年以来で、教育現場からの強い要望があったこともあり、少人数学級実現の第一歩となりました。

小学校全学年「35人学級」に向けた義務標準法上の学級編成の計画

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
６年生	４０人	４０人	４０人	４０人	４０人	３５人
５年生	４０人	４０人	４０人	４０人	３５人	３５人
４年生	４０人	４０人	４０人	３５人	３５人	３５人
３年生	４０人	４０人	３５人	３５人	３５人	３５人
２年生	４０人	３５人	３５人	３５人	３５人	３５人
１年生	３５人	３５人	３５人	３５人	３５人	３５人

現行制度

町教育委員会では、中学校の少人数学級はまだ決定されていませんが、国の標準を上回る少人数学級を目指し、手厚い教育環境とするため本別中学校の新２年生（37人）を、１学級から２学級とし、町独自で教職員１人を追加配置しました。



学級編成基準は、国が１学級の児童・生徒数を定めた基準で、各学校はそれに準じて学級を編成する必要があります。これまで複数回にわたり、引き下げられてきました。

令和４年度より導入！「小学校高学年に教科担任制」

国では、令和４年度（2022年）より全国の公立小学校の高学年に対し、従来の学級担任制から「教科担任制」を導入することが決まりました。教科担任制とは、「１人の先生が特定の教科を受け持ち、複数のクラスを教える方法」で、中学・高校では基本的に完全教科担任制が取られています。

これは、義務教育９年間を見通した教育課程を支える指導体制に向け、小学校高学年において教科担任制を本格導入するため、全国の地方自治体で取り組んできています。本町においても令和３年度に本別中央小学校で、北海道教育委員会の指定事業である「体育専科教員活用事業」と「指導方法工夫改善」による体育と算数の専科教員２人が配置され、また、校内体制の中で理科専科教員を設け、試験的に取り組んできました。

町教育委員会では、令和４年度においても昨年度と同様に「体育専科」「算数専科」「理科専科」を継続するとともに、町任用英語教員を外国語専科補助教員として活用し、教科指導の充実と学習の質の向上、中学校への円滑な接続（中１ギャップの解消）につなげていくよう取り組んでいきます。

問い合わせ　本別町教育委員会 管理課 学校教育担当　☎22−2331

本別公園内アスレチック遊具をリニューアル！

町では、本別公園の魅力をアップするため令和２年度より公園内の各施設の整備を進め、昨年、アスレチック広場のローラーすべり台を撤去し、本年から新たに４つの遊具が仲間入りしました。

５月上旬頃には公園内のエゾムラサキツツジやエゾヤマザクラが見ごろを迎えます。

町民の皆さんも、リニューアルされた本別公園へぜひお越しください。

◀全長24メートルの迫力満点のスライダー

▶スライダーのスタートとなる展望デッキ

◀広場の傾斜を利用したウッドクライミング

▶高さの異なるラバーステップを25基設置

国民年金コーナー その241

学生のみなさんへ学生納付特例制度のお知らせ

日本に住む20歳以上の人は、原則、毎月国民年金保険料を納めることが義務づけられていますが、所得の少ない学生については、在学中の保険料の納付が先送り（猶予）できる「学生納付特例制度」があります。

同制度の手続きを行わず、保険料を納めないでいると、万が一、障害や死亡といった不慮の事態が生じた場合、障害基礎年金や遺族基礎年金が受け取れない可能性があります。保険料を納めるのが難しいときはそのままにせず、申請しましょう。

※猶予された期間は、全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなります（後から補うこともできます）

○対象になる人

大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校（※1）に在学する学生等で、ご本人の前年所得が次の計算式で計算した金額の人。

※1　修業年限が1年以上の課程

［所得のめやす］

128万円＋

扶養親族等の数×38万円

で計算した額以下

○申請先

役場住民課戸籍年金担当窓口またはお近くの年金事務所

※申請は2年1カ月前まで遡って手続きすることができます

○必要なもの

・マイナンバーカードまたは基礎年金番号通知書（年金手帳）

・学生証または在学証明書

※引き続き令和4年度も「学生納付特例制度」の申請を希望する人へ

学生納付特例制度により、令和3年度の保険料納付猶予を承認されていた人（引き続き令和4年度も在学予定の人のみ）へ、「国民年金保険料学生納付特例申請書（ハガキ）」が送られます。令和3年度と同じ学校に在学される人は、そのハガキを返送することで令和4年度の申請ができます。在学する学校に変更のある人は使用できませんので、改めて申請してください。

帯広年金事務所
☎0155-25-8113
詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128
日本年金機構のホームページは
https://www.nenkin.go.jp/

ハイタイムほんべつ

災害を想定して訓練 3/28

本別高校ボランティア部（大市そら部長）と本別ボランティアクラブかめ（向井七海会長）を対象に防災キャンプ（町主催）の災害想定訓練が３月28日、中央公民館で行われました。これは、災害発生時に柔軟な対応で避難行動が取れるよう考え、学ぶことを目的に実施されたもので、両クラブ合わせて計10人が参加。訓練では、震度６強の地震が発生し、建物の倒壊など被害が発生していると想定した中で、自宅から徒歩で避難所となる同館に集合しました。集合後には、避難経路や持参した物の理由を一人ずつ発表後、全員で意見交換を行い、自分の身を守る方法について考えました。

100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈 3/20

菅原準次さん（負箙２）が３月20日に100歳を迎えられるにあたり、佐々木基裕町長から敬老祝い金が贈呈されました。菅原さんは大正11年に農家の七男として本別町でお生まれになり、26歳で独立し農業を営みながら１男１女を育て、現在、孫４人、ひ孫４人に恵まれました。菅原さんは「100歳になれるとは考えていなかった。今後は好きな山歩きを楽しみたい」と100歳を迎えた喜びを語りました。

社協とライオンズが防災協定 3/31

本別町社会福祉協議会（砂原勝会長）と本別ライオンズクラブ（朝日基光会長）による災害時のボランティア活動に関する協定書調印式が３月31日、総合ケアセンターで開催されました。この協定の内容は、同協議会が自然災害発生時に設置・運営する災害ボランティアセンターに対し、要請により全国的、世界的にもネットワークを持つ同クラブの専門性を生かした物的・人的支援のほか、ボランティアに対する飲食物（炊き出しや飲み物）の提供支援などを行うこととしています。調印式では、関係者など８人が出席した中、両会長が協定書を取り交わし、砂原会長は「災害時に大きな貢献をいただけることに感謝します」と感謝の言葉を述べ、朝日会長は「クラブの特性を生かし出来ることをやっていきたい」と話しました。

本別消防団が全国優良消防団に選出 3/24

本別消防団（伊藤英昭団長・94人）が令和３年度日本消防協会優良消防団の表彰を受賞され、その伝達式が３月24日、役場で行われました。優良消防団の受賞者は、全国35団体で、道内では本別消防団が唯一の受賞。訓練や査察の出動状況が良好であることなどが認められました。式では、北海道消防協会平井勇光会長から伊藤団長へ表彰旗と賞状が手渡されました。伊藤団長は「先輩たちが築き上げてきた力に感謝。今後も地域防災の中核として、住民の安心安全を守るため活動していきたい」と受賞の喜びを語りました。

まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

みんなの健康 453

老後を楽しく暮らすための介護予防

なぜ介護予防が必要なのでしょう?

介護予防とは「介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活が送れるようにする」取り組みです。

高齢になると体を動かさなかったり、食欲がないからと食事を抜いたり、外出の機会や人との交流が減ると筋力の低下や転倒が多くなります。今は必要ないと考えている人も、元気なうちから介護予防に取り組みましょう。

介護予防の方法

(1) 生活習慣改善のポイント

買い物や調理、掃除などの家事は、生活の中でできる体と頭のトレーニングです。男性も積極的に行いましょう。

(2) 運動のポイント

・筋力が低下すると転倒や骨折のリスクが上がります。日ごろから歩いて買い物に行くなど運動を心掛けましょう

・運動を習慣にすることがポイントです。テレビ体操などを見て毎日運動しましょう

(3) 栄養のポイント

高齢になると食事量が減り、必要なエネルギーを取ることが難しくなります。良質なたんぱく質を取るよう心掛けましょう。

(4) 生きがい、人との交流

老後を楽しく暮らすためには「健康・生きがい・人との交流」が必要だと言われています。友人と会って話す、趣味の活動をする、地域の集まりに参加するなど、交流の機会に積極的に参加しましょう。

地域包括支援センターでは、高齢者が楽しく介護予防ができる町づくりを目指しています。

今実施しているものは、「元気いきいき教室」です。運動だけでなく脳トレもあり、人との交流もできる教室となっています。昨年より、アメニティ本別の理学療法士が年2回入り、その人に合った介護予防の方法を提案しています。

相談先:本別町地域包括支援センター(総合ケアセンター内)
☎22-9222

地域包括支援センター
保健師
山本優子

銀河ホットライン
ー足寄町・陸別町からー

足寄町

里見が丘公園利用のお知らせ

里見が丘公園の利用を開始します。大型遊具や足湯も開放していますので、ぜひご家族でお越しください。

○ふわふわドーム　**4月12日(火)から**

○遊水路・BBQガーデン　**4月29日(金)から**
(予約:☎090-6694-8358)

○キャンプ場　**5月1日(日)から**
(予約:☎25-6325)

※詳しくは町ホームページをご覧ください

問い合わせ　足寄町役場 建設課 管理・都市計画担当　☎28-3865

足寄町ホームページはこちら↓

陸別町

オフロードバトル2022

今年も陸別のモータースポーツの幕開けとなる「オフロードバトル2022」が開催されます。バギー車による白熱のレースをぜひご覧ください。

※今回は都合によりATV(4輪バイク)のレースはありません

とき　**5月22日(日)午前9時スタート**

ところ　陸別サーキット(陸別町ウエンベツ)

入場料　無料

問い合わせ　陸別町役場 産業振興課 商工業振興担当
☎27-2141(内線135)

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれて、すくすく元気に育ってね！

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

南3丁目
太田 領（れい）くん
（美沙ママ・姉：花帆ちゃん）

名前の由来
海外でも素敵な意味がたくさんある言葉で、グローバルに活躍してほしい

南4丁目
薩田 琉翔（りゅうと）くん
（未菜ママ・兄：蓮翔くん）

名前の由来
“琉”宝という意味を込めて、“翔”お兄ちゃんと揃えて

山手町
斎藤 夕愛（ゆあ）ちゃん
（富見香ママ・姉：千愛ちゃん・兄：碧人くん）

名前の由来
長女と同じ“愛”を入れて、秋産まれなので「夕愛」に

ご寄付ありがとうございます

令和4年3月16日から4月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上にて厚くお礼申し上げます。（敬称略）

★本別町公共施設等整備基金指定寄付

金 3,000,000円 …… 上本別　小笠原良美

★本別町特別養護老人ホーム指定

タオル 85枚

…… 本別町赤十字奉仕団 委員長　西出好子

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

※町内の寄付者のみ掲載させていただきます

金 1,000,000円 …… 南4丁目　涌井真喜男

計 金 4,489,500円 …… 213人（上記含む）

戸籍のまど

3月後半から4月前半の届出分

お誕生

山本真秀くん 真晶さん 吾子さん 3/24 南2丁目

ご結婚

浜名一敏さん 美里別西中
伊藤ななみさん 幕別町

二瓶正博さん 山手町
小島まなみさん 山手町

おくやみ

中野利彦さん	78歳	3/18	錦町
森原耕一さん	88歳	3/21	北7丁目
松山タミさん	95歳	3/22	向陽町
大島義次さん	102歳	3/23	勇足東4
大住啓一さん	68歳	3/25	新町
佐川幸雄さん	78歳	3/28	北8丁目
熊谷征順さん	84歳	4/2	美里別高東
山下キヨ子さん	98歳	4/4	柏木町
三宅哲子さん	91歳	4/6	押帯
小泉建一さん	79歳	4/9	明美
管野満弘さん	88歳	4/13	美里別高東

わたしたちのまち

	前月比
人口	6,395人(-107)
男	3,129人(-69)
女	3,266人(-38)
世帯数	3,428戸(-72)

〔3月末日住民基本台帳〕

本のある暮らし 254

読んでみよう 調べてみよう

毎年、図書館では図書購入の寄付金をいただき、寄付してくださった皆さんの賛同を得て、子供たちの学習や生活が楽しくなる資料を揃えています。令和3年度は、小・中学生向けの調べ学習用の本をたくさん更新させていただきました。大人が読んでも役に立つものばかり。ぜひ、ご利用ください。

百科事典

10年ぶりの改訂版が揃いました

ネットも電子もいいけれどまずは紙で！

図鑑

人気の高い昆虫、動物、乗り物などを中心に

図鑑は大人でもワクワクしますよ

世の中を知る本

少年法、ＳＤＧｓ、福祉、平和、選挙…「これから社会はどう変わるの？」を考える

オシャレさん必見！ファッションの本も

お問い合わせ先

本別町図書館（愛称：ぶっくるーむ）
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

※図書館の本をインターネットで検索できます
⇒https://ilisod005.apsel.jp/honbetsu_library/

QRコードはこちら↓

■発行　本別町／〒089-3392 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1　■ホームページ　http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/
■編集　企画振興課広報電算担当　TEL 0156-22-8121　FAX 0156-22-3237　■印刷　本別印刷株式会社

資源を大切に——
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。